

6. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向 関連 (東海)	◎	商店街（代表者）	販売量の動き	・一部を除き90%の売店が営業し始めたので、製造・販売量が少しずつ増え始めた。前年比90%ダウンから60%ダウンへ改善している。
	◎	百貨店（計画担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルス禍のどん底の頃に比べると、来客数も買上状況も平常時まではいかないが回復してきている。
	◎	スーパー（経営者）	来客数の動き	・4月よりは20%くらい増加している。
	◎	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・今だけを捉えると、新車販売に関しては新型コロナウイルスの影響により買い控えをしていた客が動き、売れている状況である。
	◎	乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・滞っていた商品の入荷も徐々に回復し始め、新商品の発売もあって来客数及び販売量も前年並みに回復した。
	○	商店街（代表者）	来客数の動き	・店によっては2か月ほど前には前年の半分くらいの売上しかなかったが、今月は前年同月比97%の売上だった。来客数に回復の兆しがある。
	○	一般小売店〔土産〕（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルス禍は、大都市中心の再発が強く懸念されている。地方でも、大都市での若者の無防備なふるまいに起因する感染が増えているが、国と地方の考え方の差異から感染拡大に歯止めが利かず、懸念している。
	○	一般小売店〔書店〕（経営者）	お客様の様子	・取引先からも少しずつ戻ってきているという話を聞くため、8月には戻ってくるようにみえる。
	○	百貨店（経理担当）	来客数の動き	・Go To Travelキャンペーンの景気刺激策と夏休みのレジャー需要が重なり、今月に限っては需要の回復がみられる。
	○	百貨店（営業担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で延期していた弔事や慶事の行事が、少しずつ再開しつつある。
	○	コンビニ（企画担当）	販売量の動き	・売上、来客数については、前年比で若干ではあるが改善している。しかし、まだ前年比30%割れの状態が続いている。
	○	コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルス感染拡大の時期と比較して来客数、販売量共に改善傾向で、特に米飯などの重点管理商品に顕著に現れている。
	○	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・前年より1日当たり200人来客数が減っていたのが、100人減になった程度である。
	○	コンビニ（店員）	お客様の様子	・長雨や夏休みに入ったことにより、手軽なコンビニのおにぎりやお弁当で昼食を済ませる人が増えたように見受けられる。
	○	衣料品専門店（売場担当）	お客様の様子	・個人、法人の客からの受注が若干ではあるが回復傾向にある。ただし、新型コロナウイルス感染拡大前と比較すると、依然として厳しい状況であることに変わりはない。
	○	家電量販店（店員）	来客数の動き	・新型コロナウイルス対策の給付金がほぼ給付完了されてきて、この際にリモートワークに必要なPCを買換えたり、新しくエアコン、冷蔵庫や洗濯機を設置したり、買換え時期ではない需要があり前月に続き数値は良くなっている。
	○	家電量販店（フランチャイズ経営者）	販売量の動き	・3か月前に比べれば、最悪期は脱しつつある。個人への10万円の給付金等、政府のばらまき施策が効いて、単価の高いエアコンやパソコンが売れている。ただし、7月に入り天候不順もあり前年超えは微妙である。
○	乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・4～5月の頃から比べると、確実に購入目的の客の来店が増え、販売台数も増えている。	
○	乗用車販売店（経営者）	来客数の動き	・3か月前と比べれば来客数は多いが、また第2波突入で、購買意欲も高まらない状況が続いている。目標に対して50%を切っている。非常に厳しい月となった。	

○	乗用車販売店 (従業員)	販売量の動き	・新型コロナウイルス禍で新車の販売台数が前年比でかなり落ち込んでいたが、新車の販売台数は徐々に戻ってきている。
○	その他専門店 〔貴金属〕(経営者)	販売量の動き	・来客数はまだまだ少ないが、売上金額は上昇傾向にあるように見受けられる。直近の新型コロナウイルス第2波による影響が出始めている懸念があり、最近では来客数が落ちてきている。
○	その他専門店 〔書籍〕(店員)	来客数の動き	・ボーナスも出そろい、夏休みも短いなか、新型コロナウイルスの影響により単籠り需要があって前年の売上から20%アップしている。
○	高級レストラン (経営企画)	来客数の動き	・新型コロナウイルス禍で始めたテイクアウトの売上に占める割合が低下した。一方で、テイクアウトのニーズも更に強くなっていると感じる。
○	一般レストラン (経営者)	お客様の様子	・7月の売上は、前年に比べ1割ほど上がっている。客層が少し変わり、1人で来店しテイクアウトしていく男性客が多くなった。飲みに行く頻度が減って金が浮いている分、自宅で家族と菓子類を消費する機会が多くなったためとみられる。
○	観光型ホテル (経営者)	来客数の動き	・3か月前はほとんど来客数がなかった状態である。緊急事態宣言が解除されて7月になり、県主催のキャンペーンで1泊5000円の助成等が効果的に作用し、最悪期は脱出した。宿泊者数はやや良くなっている。
○	観光型ホテル (支配人)	来客数の動き	・3か月前の4月よりは良くなっているものの、今月も全社で前年比30%台になったところである。一般宴会と宿泊宴会は今も全くなり、この先も例年予約のある案件が、期日が近づくにつれて1件ずつキャンセルになっていくばかりだが、宿泊数は前年の50%近くまで回復し、食堂も前年比80%を超えてきた。
○	旅行代理店(営業担当)	販売量の動き	・規模は大きくないが地方自治体のキャンペーンや助成金により、売上に多少効果がみられた。前年比としてはまだ1~2割程度である。団体旅行はまだ全く回復の兆しはない。
○	タクシー運転手	お客様の様子	・3~5月は利用客が大変少なかったが、緊急事態宣言が解除されてからは増えている。売上は前年比では悪いが、一番悪かった時期と比べると倍になっている。
○	レジャーランド (職員)	来客数の動き	・臨時休園・休業をしていたが、6月から全ての施設の営業を再開した。地域間の移動制限や梅雨入りも影響し例年に比べ大きく減少している。学校団体の利用は全くない。
○	設計事務所(経営者)	来客数の動き	・どん底からは本当に僅かだが回復傾向にある。
□	商店街(代表者)	販売量の動き	・10万円の給付金が行き渡っているはずだが、相変わらず売れない。
□	一般小売店〔結納品〕(経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染者数の増加により、来客数が減少している。
□	スーパー(店長)	来客数の動き	・今月の途中から県内感染者数がまた増加したことにより、20時以降の来客数は前年比80%台にまた落ちたが、日中の来客数が増加し前年比103%になった。さらに、給付金が給付されたことで客単価も微かに上昇し、売上は良くなった。
□	スーパー(ブロック長)	販売量の動き	・来客数は緊急事態宣言の解除から落ち着きをみせ減少している。少人数での来店という意識があるためと思われるが、客単価の高い状態が依然として継続し、売上を維持している。
□	スーパー(販売担当)	販売量の動き	・4月頃から内食志向が始まってまだ続いている。直近の土用の丑の日も好調で、やや良い状況は続いている。
□	スーパー(商品開発担当)	販売量の動き	・3か月前の売上もやや良い結果であったが、7月の売上も前年100%を超える勢いで推移している。
□	スーパー(販売担当)	来客数の動き	・新装開店した頃よりは来客数は減少しているが、1人当たりの購入金額が増加し、一定数の定着した客もいる。

<input type="checkbox"/>	スーパー（販売担当）	販売量の動き	・食品、生活必需品の動きは、必要とされている商品を中心に変わらず売れている。日焼け止めのような外出に使用される商品の動向は20%減になるなど、ばらつきがある。
<input type="checkbox"/>	スーパー（営業企画）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響による内食需要の高まりから、1品単価、買上点数共高く、売上は好調である。前年比も3か月前とほぼ同じ状況である。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・緊急事態宣言解除後は堅調に売上が回復傾向であったが、今月に入り来客数が減少した。長雨による気温の低下で夏季商材が売れにくく、新型コロナウイルス感染者の増加による出控え傾向も前月より高まった。4月と比較すると全体の実績は良いが、動きは良い方向に向いているといえない。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（商品企画担当）	それ以外	・引き続き新型コロナウイルスの影響による来客数の減少が顕著である。さらに、今月に入ってから第2波のような感染拡大の傾向がみられ、前月と比較しても来客数が減少している。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（店員）	単価の動き	・壊れた家電の買換え需要は必ずあるが、高単価な商品でも選ばれている。ここ数か月、収入が減った人も来店しているが、大部分はいつもどおりという印象を受ける。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・人の動き自体は活発になってきているが、消費量が大きく変わっているようにはみえない。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（経営者）	来客数の動き	・4～5月に比べると良くなっているが、新型コロナウイルスの感染の広がりとともに急速に客足が落ちている。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・実感としてはやや良くないが、問合せはあるため、周りから聞く話ほどは悪くない。景気の良しあしは業種による。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（販売担当）	お客様の様子	・少し状況が良くなっていたように感じていたが、また新型コロナウイルスの感染が拡大しており、心配な状況である。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（営業担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響が大きく、一時的にはメーカーの施策により売れているようだが、相対的な売上台数は減っていると考えられる。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・なじみ客がほとんどであるが、週に何日も来ていた客が月に何日かの来店になっている。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン（従業員）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で大変困っている。最近感染者も増加しているため、客も敏感に反応しているように見受けられる。
<input type="checkbox"/>	その他飲食〔仕出し〕（経営者）	販売量の動き	・全てが新型コロナウイルスの影響だとは言い切れないが、一向に上向く兆候がない。
<input type="checkbox"/>	旅行代理店（経営者）	販売量の動き	・春からの新型コロナウイルスの影響により先がみえない。7月下旬になっても、夏休みが短く今年の夏旅は期待できない。
<input type="checkbox"/>	旅行代理店（経営者）	お客様の様子	・このところ感染者が増え続けているため、安心して旅行ができるわけではなく不安な様子である。Go To Travelキャンペーンのスタートに期待していたが、内容が曖昧で事業者も把握できていない。直近の夏休みの利用に効果があるのかよく分からない。客も割引されるなら旅行がしたいという状況ではなさそうである。
<input type="checkbox"/>	旅行代理店（営業担当）	それ以外	・新型コロナウイルスによる緊急事態宣言が解除されて2か月になるが、個人旅行は県、市町村の宿泊割やGo To Travelキャンペーン等で多少の売上は発生した。しかし、団体旅行の復活がほぼないため底の状態は続いている。景気回復は新型コロナウイルスが完全に終息しない限り、無理だと考える。
<input type="checkbox"/>	タクシー運転手	単価の動き	・何か月も前から人出が少ない。当分はこのような状況だと考えている。
<input type="checkbox"/>	タクシー運転手	来客数の動き	・一度落ち込んだ景気はなかなか戻らない。
<input type="checkbox"/>	通信会社（企画担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響により、営業活動のやり方は変わっているものの、結果的に新規契約数は計画どおりに推移している。

□	通信会社（営業担当）	お客様の様子	・在宅勤務、ゲーム環境や学校関係等で有線のインターネット環境を希望する客が増えてきたように見える。
□	観光名所（案内係）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響により人出が依然として少ない。5月頃から比べると多少は増えてきたが、皆早く家路につくため、商売にならないところが多い。
□	ゴルフ場（支配人）	来客数の動き	・今月は、新型コロナウイルス感染症の影響に加え、雨の日が多く、入場者数は激減している。6月に入り入場者数は段々と戻りつつあったが、7月はいまだ梅雨も明けず、最悪の状況である。
□	その他レジャー施設〔鉄道会社〕（職員）	来客数の動き	・通学者は平常時に戻っていると感じるが、通勤や一般の利用では、まだ電車を避けているようである。
□	美顔美容室（経営者）	お客様の様子	・4月からキャンペーンを始めているが、新型コロナウイルスが終息せず、声掛けもできないため集客できない。
□	美容室（経営者）	来客数の動き	・客も高齢者が多いため、新型コロナウイルスの影響により外出を控え、店は暇である。
□	その他サービス〔介護サービス〕（職員）	販売量の動き	・福祉用具レンタルという介護サービスは、日常生活動作が低下した高齢者の客には必需品であるため、提供量が大きく減少することはなかった。用具販売や介護リフォームについては、緊急事態宣言解除後は徐々に上向き傾向にある。
□	その他住宅〔不動産賃貸及び売買〕（営業）	販売量の動き	・新型コロナウイルス禍で部屋探しの客が例年に比べて約30%減になっている。4月は緊急事態宣言下だったため比較すれば当然良いが、到底景気が上向きとは感じられない。
▲	商店街（代表者）	お客様の様子	・アパレル関係、衣料品等の小売の売上が良くない。飲食店も少し持ち直したかと思っていたが、怪しい雲行きになってきた。
▲	一般小売店〔高級精肉〕（常勤監査役）	販売量の動き	・新型コロナウイルス感染者が増加している。
▲	一般小売店〔生花〕（経営者）	来客数の動き	・来客数はかなり落ち込んでいる。新型コロナウイルスの感染が県内でもかなり増え、必要最低限の買物しかなくなっている。特に高齢者は出てこない。ショッピングセンターの来客数も非常に少ない。
▲	一般小売店〔贈答品〕（経営者）	お客様の様子	・7月はお中元シーズンであるが、客の様子をみると、新型コロナウイルスの影響で人との付き合いを狭くしており、売上、販売数はマイナス傾向が続いている。3か月前と比べると厳しい方向に向かっている。
▲	一般小売店〔書店〕（営業担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で営業活動に制限があり、徐々に受注量も減少してきている。
▲	百貨店（売場主任）	お客様の様子	・来客数は多いが、旅行に行けないので、買物というよりは見るだけ、散歩という雰囲気です。売上は厳しい状況である。
▲	百貨店（総務担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルス感染者の減少により、売上高も9割程度戻っていたが、感染の再拡大等により客足が鈍り、売上は再度厳しい状況にある。特に県内では感染者が増加しており、今後も懸念される状況である。
▲	百貨店（販売担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスも少し落ち着きをみせた月前半は、来客数も徐々に戻り始め需要の高まりを感じられた。しかし後半からは第2波と思われる状況になり、来客数の激減とともに売上も減少した。厳しい状態に戻ってしまった。
▲	スーパー（店員）	単価の動き	・給付金効果も終わり、雨による来客数の減少傾向が見受けられた。
▲	コンビニ（店長）	販売量の動き	・雨の日が多く気温が低めだったため、飲料水、アイスクリーム等の売上が落ち込み、全体でみても前年比1割程度落ち込んでいる。

▲	コンビニ（本部管理担当）	来客数の動き	・コンビニ業界は依然として下向きで苦戦を強いられている状況である。売上の前年比はチェーン別に回復状況が違うが、新型コロナウイルス発生以前の売上実績に戻っておらず、当社は7月速報値で前年比88.7%である。新型コロナウイルスにより世間の働き方や余暇の過ごし方は変化が発生し、対応するために業界の試行錯誤は続いている。
▲	乗用車販売店（経営者）	来客数の動き	・車検整備など必要なことに関しては来店があるものの、臨時整備は後回しになったり、自分でできることはしたりで、来店が減っている。
▲	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・来客数は新型車効果もあり前年並みの水準に戻ってきてはいるが、成約には結び付かず、販売台数は前年比8割ほどになっている。車検など必要最低限の入庫はあるが、サービス工場全体への入庫も目標の8割程度と、非常に厳しい状況になっている。
▲	住関連専門店（営業担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で商業施設の工事に延期や中止となっている案件がある。その他の建築に関しても見通しが立たず、契約が少なくなっている。
▲	その他小売 [ショッピングセンター]（経理担当）	販売量の動き	・4～6月、7月以降も新型コロナウイルス感染拡大による特殊要因があり、状況を見極める状態にはない。
▲	一般レストラン [居酒屋]（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスが憎い。
▲	その他飲食 [ワイン輸入]（経営企画担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響を心配していたが、6～7月の販売額は前年と同程度まで回復した。人との接触を減らすなど適切な対処をすれば、消費者にも購入意欲自体はあるようだ。
▲	都市型ホテル（営業担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響から問合せは前年の2割程度で、今後も引き続き少ないと見込まれる。
▲	旅行代理店（経営者）	それ以外	・ターミナル駅前の人通りは以前と比較し増えてはいるが、あちらこちらで感染者が増えて、飲食店の撤退が見受けられる。大型ビル内でも撤退する店舗があり、空きスペースが埋まらない状況が出てきている。
▲	通信会社（サービス担当）	販売量の動き	・既存客の契約事業者変更は多いが、新規申込みの注文は減っている。
▲	パチンコ店（経営者）	販売量の動き	・来客数の動きや単価の動きがやや悪くなっている。
▲	美容室（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの第2波が来ていると感じる。
▲	美容室（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響が大きい。イベント、旅行等も中止となり出掛けることが少なく、美容院に来店する予定もキャンセルになる場合も多い。
▲	設計事務所（職員）	お客様の様子	・客との打合せでも景気の良い話は聞かない。
▲	住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・新型コロナウイルス第2波が来て、受注量が下向き傾向である。
▲	その他住宅 [住宅管理]（経営者）	販売量の動き	・外出自粛解除後少しずつ問合せが入ってくるが、契約まで結び付かない状況である。景気回復にはまだ時間が掛かる。
×	商店街（代表者）	お客様の様子	・客の動きからも新型コロナウイルスの第2波が来ているように見受けられる。
×	一般小売店 [酒類]（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの再拡大で、取引先の飲食店では自主的に休業、閉店するところが出てきた。
×	百貨店（営業担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスが少しずつ収束してきて、来客数も新型コロナウイルス禍の前までとはいかないが戻りつつあった。しかし、感染が再度地方にも広がりがつあり、今後も悪くなると見込まれる。
×	百貨店（業績管理担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響がぶり返し、売上は苦戦している。食品催事を計画していたが、中止する方向で検討を始めている。長雨や豪雨の影響もあり、来客数が落ちている。

	×	スーパー（支店長）	それ以外	・この新型コロナウイルスの状況において、仕事は縮小し、来客数、収入の減少で大打撃である。先がみえない状況で不安しかない。
	×	コンビニ（店長）	来客数の動き	・売上、来客数共に前年比3～5割減少の日々が続いている。
	×	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・景気が悪いというより、新型コロナウイルスにより外出を控えているため来客数が極端に少なくなっている。
	×	衣料品専門店（販売企画担当）	販売量の動き	・売上が全く上がらない。来客数も少なく、新規デザインの提案もなく仕入れ方面の動きも弱い。
	×	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・人気新型車両の投入もあり、市場に少し明るさがみえたように感じたが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、また客の購買意欲が減退し、営業活動をどのように進めていけば客に受け入れられるか苦慮している。
	×	その他専門店〔雑貨〕（店員）	来客数の動き	・消費マインドを下げる要因ばかりで、プラスになる要因が1つもない。
	×	一般レストラン（従業員）	来客数の動き	・市独自のプレミアム付き食事券の発行で来客数は増えてきたものの、宴会はゼロなので売上につながらない。
	×	都市型ホテル（経営者）	来客数の動き	・予約が入らない。
	×	都市型ホテル（総支配人）	来客数の動き	・新型コロナウイルス第2波の影響で、6月は上向き加減だった状況は悪化に転じた。
	×	旅行代理店（経営者）	販売量の動き	・海外旅行は3月以降売上がゼロである。国内旅行も前年比3%程度のため、悪くなっていると判断する。
	×	テーマパーク（職員）	来客数の動き	・令和2年7月豪雨や新型コロナウイルス第2波の影響による出控えがある。
	×	テーマパーク（職員）	それ以外	・新型コロナウイルス感染の収束がみえない限り難しい。
	×	理美容室（経営者）	来客数の動き	・今月は忙しい月のはずだが、新型コロナウイルスの影響により客足が伸びない。
	×	理容室（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響でここまで仕事が少なくなり、驚いている。
	×	住宅販売会社（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染者が増加し、外出自粛が報道され来客数が減少した。
	×	住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・新型コロナウイルス禍、梅雨の長い雨で来場者数が激減した。来場者も時間を持て余した母子の来場が多い。今後も不安しかない。
	×	住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・リフォームでさえも依頼が減ってきた。
企業 動向 関連 (東海)	◎	—	—	—
	○	不動産業（経営者）	それ以外	・例年よりも雨の日が多い上に、新型コロナウイルスの影響はまだ続いている。公共交通機関利用者は少しずつ回復傾向にあるが、売上は前年同期を大きく下回っている。
	○	その他サービス業〔ソフト開発〕（社員）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルス発生タイミングで4～5月の派遣契約が終了した要員は、7～8月に掛けて別の取引を開始することができた。
	○	その他非製造業〔ソフト開発〕（経営者）	取引先の様子	・今月は前月よりは少し上向きであるが、例年の7割程度しか戻っていない。競合先も良くない。リーマンショック以来の不況が押し寄せている。特許出願が8月に迫ってきた。
	□	一般機械器具製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・主要市場である北米では、まだ新型コロナウイルスの感染が拡大しており、設備投資どころではないという雰囲気である。新たな移動制限が始まっており代理店が客先を訪問できず、客先の動向もつかめない。
	□	電気機械器具製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響は比較的少ないと思われるが、不透明な部分も多い。
	□	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響により客先業界で設備投資がなく、売上は厳しい状況である。

□	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響により休業等が発生し、数か月前から受注量等も変動はなく、横ばい状態が続いている。
□	電気機械器具製造業（総務担当）	取引先の様子	・通信に関連する事業分野では、ネットワークの高度化の要望が強く、受注は好調である。
□	輸送用機械器具製造業（総務経理担当）	受注量や販売量の動き	・5～6月に比べると7月は良くなってきたが、生産量が多少戻ってきたということであり、4月と同じ程度の売上である。
□	建設業（役員）	受注量や販売量の動き	・7月中旬までは集客も好調だったが、後半からは新型コロナウイルスの影響もあり来場者数が減少に転じている。
□	建設業（営業担当）	取引先の様子	・客商売の業種ではなく生活に必要な業種であるため、景気の影響は余り受けていないが、部品等を購入する業者では厳しいところがあるようだ。
□	輸送業（従業員）	受注量や販売量の動き	・仕事量が減った4月の状況と、この7月の状況は同じくらいである。5月が特に受注量が減ったことで売上が大きく落ち、6月は若干だが5月よりは回復した。7月には当初は前年並みに回復しそうな気配だったが、やはりまだまだ新型コロナウイルスの影響は続いており、予定どおりにはなっていない。
□	輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルス禍で多くの企業の活動が低下し、物流が鈍化している。
□	輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・今月第2週目から1日当たりの荷物取扱量が徐々に上向いている。3か月前と比べると多い日では2ポイントほど増加している。しかし、これが景気の上向きと判断するのは時期が早い。今月、来月一杯には見極めたい。
□	通信業（法人営業担当）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響によりかなりの落ち込みがある。特に個人経営の飲食店等は非常に苦勞を強いられている。来客数も半分程度のものであり、景気回復にはつながない状況である。
□	通信業（総務担当）	それ以外	・新型コロナウイルス禍で人の動きをまだまだ制限されている間は、身近な個人消費やサービス業全体で回復しない。感染リスクを抱えたまま世の中の気持ちが高揚しないうちは、景気は悪いままである。
□	不動産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・物件数、価格など新型コロナウイルス禍での現状の低迷は一段落した様子である。
□	広告代理店（制作担当）	取引先の様子	・新型コロナウイルス禍により営業サイドがなかなか積極的な広告活動ができないため、受注もかなり絞られてきてしまっている。
□	会計事務所（職員）	取引先の様子	・客先の中で、特に中小企業においては、銀行等からの借入金等で営業活動を維持し、売上も緊急事態宣言のあった5月頃と比較すると増えているところが多いが、再び新型コロナウイルスの感染が拡大しており、売上の回復に陰りが見え始めている。
□	会計事務所（職員）	取引先の様子	・雇用調整助成金の支給申請が終わらない。現在申請中のところは、年内は掛かるといわれている。
▲	食料品製造業（経営企画担当）	受注量や販売量の動き	・一部の消費財を除いて全体的な需要が減退している。豪雨や長梅雨も前年同様の傾向であり、売上に大きくマイナスの影響を及ぼしている。
▲	化学工業（総務秘書）	それ以外	・緊急事態宣言解除後に新型コロナウイルス第2波が到来した。自粛生活をしなければ感染拡大は防げないことを示されたようで、ますます旅行、外食、エンターテインメントは壊滅的な状況に追い込まれてきた。宣言解除で国民は少し羽を伸ばしたが、これから再び自粛生活に入る。
▲	窯業・土石製品製造業（社員）	取引先の様子	・取引先の中には、新型コロナウイルスの影響で受注量が減り稼働率が下がっているところがあり、臨時休業の連絡も来ている。
▲	鉄鋼業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量、販売量共に前年比20%ほど落ち込んだまま推移している。客からの次の仕事の予定や見積りも、この時期は例年増えるものが今年は皆無とってよいほどない。

	▲	金属製品製造業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・受注量が減少している。
	▲	金属製品製造業 (従業員)	受注量や販売量の動き	・やはり案件の動きが鈍くなってきた。引き合いが少しずつ大人しくなってきた感じがする。
	▲	電気機械器具製造業 (企画担当)	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で需要も縮小しているが、それ以上に生産が落ち込んでいる。生産は持ち直してきているが、今度は需要の落ち込みが懸念される。
	▲	輸送業 (経営者)	取引先の様子	・足元は市場が動き始めたので物量は増えてきているが、生産力を満たすだけの需要はない。
	▲	輸送業 (従業員)	受注量や販売量の動き	・輸送物量の減少がみられる。
	▲	通信業 (法人営業担当)	取引先の様子	・取引先がテレワークで担当者の不在率が上がり、なかなか商談が進まない。担当者だけでなく、以前はよく遭遇していた競合先の担当者にも会わなくなった。
	▲	金融業 (従業員)	取引先の様子	・新型コロナウイルスの影響により、飲食店も含めて多くの事業者が平常時までの復旧には追い付けない状況である。中小企業も同じような状況であり、生産も落ち込んでいる。
	▲	金融業 (企画担当)	取引先の様子	・飲食、旅行を中心に、新型コロナウイルスの悪影響が継続しており、業績が回復する兆しがみられない。企業体力がいつまで持つか非常に懸念される。
	▲	新聞販売店 [広告] (店主)	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で、経済活動に目に見えない自粛圧力を感じる。
	▲	行政書士	受注量や販売量の動き	・自動車関連業者、特に自動車部品を運ぶ業者が厳しい状況である。
	×	食料品製造業 (営業担当)	取引先の様子	・新型コロナウイルスの影響により取引先の休業が多く、販売が大きく低下している。
	×	パルプ・紙・紙加工品製造業 (顧問)	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響により受注量、販売量が前年比75%と大幅に減少した。特に自動車関連が悪く、景気はまだまだ悪い状態である。
	×	化学工業 (営業担当)	受注量や販売量の動き	・自動車、建築関係に携わる薬液の需要が減り、容器の販売数量は減少している。電子材料の薬液についても5月までは好調であったが、現在は在庫調整を行う会社が多く、容器の販売量は減少している。
	×	輸送用機械器具製造業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・営業的に国内の客先訪問も禁止されているところが多く、新規の案件について検討することすらままならない。電話やメールだけでは詳細な話が進まない。客先でも中国工場へは渡航することができないので、生産計画も立たず難しい状況である。
	×	輸送用機械器具製造業 (品質管理担当)	取引先の様子	・新型コロナウイルスの影響により受注量が激減し、今月は仕事が休みになった。
	×	公認会計士	それ以外	・客先の中小企業の多くが、新型コロナウイルス感染症の影響で売上が減少している。新型コロナウイルス感染症により収益性が低下している大企業からは、取引量の減少や取引価格引下げの要請等があり、中小企業の業績は非常に厳しい。
雇用 関連 (東海)	◎	—	—	—
	○	アウトソーシング企業 (エリア担当)	周辺企業の様子	・自動車産業において、最大手は生産調整もなく通常稼働で、他の大手でも8月より通常稼働と、新型コロナウイルス発生以前の生産体制に戻りつつある。
	○	民間職業紹介機関 (支社長)	求人数の動き	・業績の良しあしにかかわらず新型コロナウイルスで一旦止まった求人の中から、戻ってきた求人がある。
	□	人材派遣会社 (社員)	求人数の動き	・取引先の営業は再開されたが、利用は少なく依頼が全くない状況である。
	□	人材派遣会社 (営業担当)	周辺企業の様子	・主要客である自動車メーカーにおいて、新型コロナウイルスの影響により予算を見直すという話が多く、引き合いがあった案件も、提案途中で予算見直しにより消滅というケースがあった。
	□	新聞社 [求人広告] (営業担当)	採用者数の動き	・非正規労働者を中心に雇止めが多く、求人広告は全く出稿されなくなった。
	□	職業安定所 (職員)	求職者数の動き	・雇用調整助成金の新規申請は落ち着いてきているが、雇用保険の受給者が増加してきている。

□	職業安定所（職員）	求人数の動き	・全体的な求人数は低迷している。特に自動車、ホテル関係は低迷が続いている。一部では求人数が増えているが、全体的には悪いままである。
□	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新型コロナウイルス禍の影響がまだあるとみられ、3か月前よりも新規求人数は微増している一方で、新規求職者数が減少している。
□	民間職業紹介機関（営業担当）	採用者数の動き	・転職希望者と求人企業の要望との需給バランスにギャップが生じているケースも散見される。企業側の姿勢は、より厳選しての採用になる。
▲	人材派遣会社（企画統括）	求人数の動き	・人材派遣の新規求人数が、前年同月比で大幅に減少している。
▲	人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・求人数は依然として低い水準ではあるものの、下げ止まりの状況にある。新規求人は認めない方針の企業が散見される。
▲	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	採用者数の動き	・これまで以上に企業の採用意欲の減退が感じられる。新卒者についても、予定数に達していなくても業績不調を理由に採用活動終了を決めた企業が幾つもある。
▲	職業安定所（次長）	求職者数の動き	・新規求職者数が前年同月及び前月と比較して増加している。数値としては1月の新型コロナウイルス発生以前の水準に近い。新規求人数も増加しており、新型コロナウイルス発生以前の数値と近いものである。
▲	職業安定所（次長）	求人数の動き	・新型コロナウイルス感染拡大の影響等から、建設業では新規求人数が前年同月から増加しているものの、製造業を始めその他の産業では、前年同月から新規求人数が大きく減少している。
×	人材派遣業（営業担当）	それ以外	・新型コロナウイルス第2波の影響により、自粛傾向が再度強まる可能性がある。海外渡航も緩和に向かってはいるものの、景気を好転させるまでには至らない。
×	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・新型コロナウイルス第2波の動きから、企業のテレワークの再開と求人数の落ち込みがみられる。
×	人材派遣会社（営業担当）	それ以外	・新型コロナウイルス感染が拡大している。
×	職業安定所（次長）	求職者数の動き	・新型コロナウイルス関連による雇止めに伴い、雇用保険受給決定者数が増加している。